

報告書整理番号第4号

産業労働常任委員会県内調査報告書

令和元年7月23日（火）に、「産業に関する事項」及び「労働に関する事項」について調査を実施したところ、その概要は次のとおりでした。

神奈川県議会議長 梅 沢 裕 之 殿

産業労働常任委員会 委員長 中 村 武 人

# 産業労働常任委員会県内調査報告書

令和元年 7 月 23 日 (火)

## 1 調査の概要

- (1) 調査箇所 WeWork（オーシャンゲートみなとみらい）、  
日本エア・リキード株式会社東京イノベーションキャンパス
- (2) 出席委員 田中(徳)副委員長、  
加藤(ご)、川本、綱嶋、長田、竹内、小野寺、くさか、菅原(直)  
の各委員
- (3) 調査日 令和元年7月23日(火)

## 2 WeWork（オーシャンゲートみなとみらい）

### (1) 調査目的

WeWorkは、2010年にアメリカのニューヨークで創業したコミュニティ型ワークスペースであり、2019年4月の時点で、全世界27カ国100都市でオフィスを展開し、起業家やベンチャー企業、大企業など40万人以上が利用している。日本では、ソフトバンク株式会社との合弁会社であるWeWork Japanが設立され、16のオフィスが展開されている。

本県においても、ソフトバンク株式会社と平成31年2月4日にSociety 5.0の実現に向けて、包括連携協定を締結し、この協定を踏まえて、WeWork オーシャンゲートみなとみらい内に専用デスクを2席設け、県内産業の活性化に向けた活動の推進を図っていることから、当施設を調査することにより、産業及び労働に関する委員会審査の参考に資する。

### (2) 主な説明項目

#### ア 国内の展開状況

都内17カ所に加えて、横浜、大阪、福岡、名古屋、神戸に展開しており、1カ月に2拠点のペースで、年内に25カ所以上を展開することを予定している。

#### イ WeWorkの環境

オフィスとは思えない環境だが、パソコンさえ持ってくれば、そこがオフィスになるという、WeWork側で全て用意している環境で、クリエイティブなスペースという空間を大事にしている。また、コミュニティが作りやすい環境となっている。このオープンイノベーションプラットフォームをWeWorkでつくっている。

#### ウ グローバルなコミュニティ

WeWork側で、交流を促す仕掛けとして、専用アプリや共有スペースを使ったイベント開催を無料で開催している。また、受付にコミュニティマネージャーを置き、課題を持った企業同士のマッチングを図るなど、ビジネスチャンスの拡大の仕組みを実施している。企業同士のコラボレーションを

期待して大企業も続々と入居している。神奈川県とも一緒になって、地域を盛り上げたいと考え、取り組みを推進している。

(3) 主な質疑応答

**質 疑** コミュニティをつくっていく中で、実際にマッチングされて仕事をしているのは、同じスペース内にいる方同士が多いのか。それとも、専用アプリといったネットワークを通じてのマッチングが多いのか。

**応 答** 国内はオープンして1年ほどなので、マッチングしている例としては、ローカルで会ってというケースが多いと思われる。SNSの中でマッチングしているケースは多々見られる。細かいマッチングは多いと思う。

**質 疑** 説明の中で、神奈川県と一緒に地域を盛り上げたいということだが、具体的にどのようなことを盛り上げるのか。また、どういうメリットがあるのか。

**応 答** 神奈川県にベンチャー企業を創出、定着させるために、WeWorkで県内企業をマッチングすることを期待している。

**質 疑** このWeWorkの家賃は一月幾らか。

**応 答** 神奈川県には自由に入っていただく形を用意しており、一月約240万円かかる。そのかわり、初期費用等は求めている。

**質 疑** WeWorkの利用者は大体どのぐらい来るのか。

**応 答** 大体7割程度のスペースが埋まる利用者が来る。横浜という立地、広いスペース等の魅力があるので、その魅力を発信していきたいと思う。

(※ 上記以外の質疑は、施設見学中に随時行われた。)



(4) 調査結果

We W o r kは、コミュニティ型ワークスペースの利点を生かし、企業同士のマッチングといった県内産業の活性化に向けた取り組みを推進している。

以上のように、We W o r kにおける県内産業の活性化に向けた取り組みを調査したことにより、今後の施策を審査する上で参考に資することができた。

### 3 日本エア・リキード株式会社東京イノベーションキャンパス

#### (1) 調査目的

日本エア・リキード株式会社は、日本の産業ガスの大手メーカーで、1907年に日本で初めて酸素製造を開始して以来、100年以上にわたり業界のパイオニアとして日本の産業発展に貢献している。エレクトロニクスを初め、産業分野の企業へ酸素や窒素を供給しているほか、酸素燃焼装置など顧客のニーズに基づいた共同研究と課題解決に力を入れている。

本県においても、日本エア・リキード株式会社が横須賀リサーチパーク内に東京イノベーションキャンパスを開設するに当たり、企業誘致施策であるセレクト神奈川100を活用し、補助金を受けていることから、当社の取り組みを調査することにより、産業に関する事項について委員会審査の参考に資する。

#### (2) 主な説明項目

##### ア 避難経路

日本エア・リキード株式会社では、酸素等の空気媒体を使用した研究を行うことから、万が一のことを考え、最初に必ず避難経路の案内を行っている。

##### イ イノベーションキャンパス

イノベーションキャンパスは、顧客を中心に据えたイノベーションを促進することを目的として、アメリカ、フランス、ドイツ、中国及び日本に設置されており、日本のキャンパスはことし3月にオープンしたばかりである。横須賀の船をモチーフにした建物で、8,000平米の敷地に約200名の人員が配置されている。

このキャンパスにおいて、ハイテク、エネルギー、環境負荷、安全といった、高度な専門性を備えた技術者及び科学者が開発に携わっており、最新の設備を備え、知識を共有してオープンイノベーションを加速し、新たな可能性を探り、課題解決のための革新的なソリューションを生み出すことを目的としている。

##### ウ 使用ガスと供給方法

半導体、各種ディスプレイ、太陽電池、各種電子部品の製造で使用される高純度材料ガスといった高品質の60種類以上の多様なガスを提供し、種類、純度、使用量や用途に応じて、安全かつ安定的に、最適な供給方法を提案している。

#### (3) 主な質疑応答

**質 疑** 製造した商品が、環境にどのような影響を与えるのか。また、新しい商品を開発して、当然、能力の高いものが出てくるとは思うが、思いもよらないトラブルもあると思う。そういった場合の

安全体制も含めて、どのような対応をとっているのか。

## 応 答

まず安全について、冒頭に説明した避難経路を使い、どのような場合においても安全に無事に帰っていただくよう、全施設で案内している。グループの中で、100数年の歴史の中でつくった安全と環境に関する取り決め、ルール、ガイドラインにより、全施設に徹底されている。他の国でトラブルが起こったら、すぐに全社に共有される意識があるので、安心して業務を行っている。

環境について、酸素等をつくるに当たって、相当な電力を使用するため、つくるエネルギーを1%、2%省力化する取り組みを行っている。子会社にも、常に0.1%でも省力化になるように取り組んでもらっており、地球温暖化へのグループの目標として、2015年を起点にし、10年間でCO<sub>2</sub>を30%削減することを設定している。

また、酸素等を運搬する際に、物流を効率化することもCO<sub>2</sub>やエネルギーの削減に非常に重要になることから、運搬するタンクローリーのタンクの部分の設計についても、常に研究している。

施設内の食品系や金属系といった酸素等を使うところについても、少しでもエネルギーを使わないために、酸素の使い方をより省力化するよう、アプリケーション化するなどの取り組みを行っている。

(※ 上記以外の質疑は、施設見学中に随時行われた。)



## (4) 調査結果

日本エア・リキード株式会社は、本県の企業誘致施策であるセレクト神奈川100により、県内に立地して事業活動を展開している。

以上のように、日本エア・リキード株式会社における本県の企業誘致施策を

活用した産業活動の取り組みを調査したことにより、今後の施策を審査する上で参考に資することができた。



<参 考>

- 1 随 行 者 遠藤主事（議会局議事課）、合田主幹（産業労働局総務室）
  
- 2 調査箇所側出席者
  - (1) WeWor k（オーシャンゲートみなとみらい）  
山田産業労働局長、館産業部長、長沢ベンチャー支援担当課長、八尋産業労働局企画調整担当課長、ソフトバンク株式会社統括部長、ソフトバンク株式会社社員
  - (2) 日本エア・リキード株式会社東京イノベーションキャンパス  
山田産業労働局長、池松企業誘致・国際ビジネス課長、八尋産業労働局企画調整担当課長、日本エア・リキード株式会社代表取締役、日本エア・リキード株式会社東京イノベーションキャンパス長、日本エア・リキード株式会社東京イノベーションキャンパス ファシリティマネージャー